

2025 年度 藤田医科大学大学院医学研究科
専門職大学院 教育課程連携協議会 議事録

日 時：2025 年 12 月 18 日（木）14 時 56 分～15 時 26 分

場 所：大学 1 号館 B1 会議室より Zoom によるハイブリッド開催

出席者：小松本悟、佐藤大介、恵美宣彦、小森義之、近藤良伸、三浦公嗣(陪席)

配付資料

- 1-1. 藤田医科大学専門職大学院 教育課程連携協議会 構成員名簿
- 1-2. 藤田医科大学専門職大学院 教育課程連携協議会 規程
2. 2024 年度入学者 課程修了報告
3. 2025-2026 入学者・入学予定者一覧
4. 2025 年度活動実績報告
5. 新カリキュラム授業科目
6. 専門職大学院パンフレット

議 事 概 要

藤田医科大学専門職大学院教育課程連携協議会規程第 4 条により、廣瀬医学研究科長の指名により小松本特命教授が議長となり、同第 2 条に規定する構成員の全員が出席し、本日の定足数に達したことを確認した。以上を踏まえ、開会を宣した。

《報告・協議事項》

1. 協議会構成員

小松本特命教授より 2026 年度末をもって定年退職すること、その後は三浦特命教授が主担当となり新カリキュラムとして引き継ぐ旨の報告があり、続いて三浦特命教授より挨拶があった。

2. 2024 年度入学者（2 期生）課程修了報告

2024 年度入学の 2 期生 14 名が課程を修了した。詳細については活動実績報告にて報告した。

3. 2025 年度入学者（3 期生）一覧および 2026 年度入学予定者（4 期生）一覧

3 期生については、入学後半年以上が過ぎたが大変好評であり、熱心に取り組んでいることが報告された。4 期生については 11 名が入学予定であることが報告された。

4. 2025 年度活動実績報告

①病院経営専門職大学院について

1 期生、2 期生、3 期生からは、新たに理事長 1 名、病院長 2 名、副病院長 1 名、執行役員 1 名の計 5 名を輩出した（予定を含む）との報告があった。

また、2 期生より昭和上條医療奨励賞の受賞者が出たことが報告された。

2 期生の課題研究で取り上げられた地域連携パスは有用とされ、別の 2 期生の病院でも導入が進められている。また、2 期生による「病床稼働率向上の取り組み」がモデルとなり、3 期生に良い影響を与えていることが報告された。

②カリキュラムフィードバック

卒業時アンケートより、リーダーシップ・ガバナンスの講義の有益性、オンライン形式による継続のしやすさ、病院経営・医療政策を体系的に学べた点、ケースメソッドの効果、同期との議論やネットワーク形成の価値など、大学院の講義が非常に有意義であったとの意見が寄せられた。

5. 新カリキュラム授業科目

2026 年度からの新カリキュラムについて 3 つの特色が説明された。

- ① 入学資格を医師のみでなく看護師を含めて医療に関係がある人すべてとする。
- ② 公衆衛生学大学院と位置づけるため、これまでのカリキュラムを踏襲しつつ、公衆衛生系科目を充実させる。
- ③ フィールドワークを導入する。

藤田医科大学病院を拠点とし事前学習において検討・分析した課題について取り組む。地域包括ケア中核センターの実習では地域医療の実態を別の側面から実践的に体験し、地域包括ケアを推進するための取り組みを提案する。

<委員からの質問と回答>

恵美委員 「授業は Web で実施されているが、時間帯はいつか。」

佐藤委員 「隔週木曜日の 18：00～21：10、隔週土曜日の 9：00～16：10 である。」

恵美委員 「土曜日は長時間ではないか。」

佐藤委員 「午前、午後に、科目や教員を変えて、リフレッシュできるようにしている。」

恵美委員 「2026 年度からの新カリキュラムについてはどうか。」

三浦先生 「ほぼ毎週の土曜日に実施する予定。ただし午前・午後に別の講師で担当する予定である。」

恵美委員 「出欠席についてはどのようにしているか。」

佐藤委員 「規定どおり、開始から 20 分までに出席できなければ欠席としている。オンライン授業であるため、比較的柔軟に対応できている。」

小森委員 「もし、授業を受けられなかった場合は映像などで対応できるのか。」

佐藤委員 「授業動画をオンデマンド配信で受講・復習が可能である。授業を欠席した場合、オンデマンド配信で受講したうえで欠席レポートを提出してもらっていい

る。」

近藤委員 「2期生の卒業時アンケートで医療政策の講義を深掘りしてほしいという意見があった。地域の医療機関と保健所の連携についてもカリキュラムに反映してほしい。」

佐藤委員 「現在のカリキュラムでは医療政策の授業は2単位あり、地域医療構想についてはケースメソッドなどでも取り上げている。」

三浦先生 「保健所が果たしてきた公衆衛生上の役割、功績は重要である。地域医療構想をはじめ、医療政策の変遷や今後について、現場の視点を反映した重層的な教育が出来ればと考えている。」

恵美委員 「フィールドワークは藤田に来て実施するのか。」

三浦先生 「学生には豊明キャンパスに来てもらう予定である。」

以上、予定されていた議事は終了し、議長は 15 時 26 分閉会を告げた。

文責：医学部学務課